

## ラオス人民民主共和国

国の概要	面積	約 236,800 km <sup>2</sup>
	人口	約 738 万人 (2021 年, ラオス統計局)
	首都	ビエンチャン
教育行政組織		
	国	人民民主共和制
	地方	県 (17 県とビエンチャン特別市) と郡 (148)
教育課程基準		教育スポーツ省により教育課程の基準が定められている。
教科書制度		
	教科書の定義	教育法では, 教育スポーツ省が定めたカリキュラムを順守することが求められているが, 教科書を使用する義務については書かれていない。
	発行主体	国立教育科学研究所
	国定, 検定, 認定などの制度	国立教育科学研究所が作成し認定している。
	採択・選定などの制度	他に作成している機関がないため, 採択・選定については該当しない。教科書の原案ができると, 教育スポーツ省が組織する Committee for Approval of Curriculum and Instructional Materials (カリキュラム指導教材承認委員会) が開かれる。教科書は基本的に 10 年に一度改訂されることになっている。
	使用義務の有無	公立, 私立にかかわらず, 同じ教科書を使う必要がある。
	有償・無償	都市部では無償配布されているが, 地方 (特に山岳地帯) には行き届かない傾向がある。ただし配布状況は改善されつつある。
	給与・貸与	地方の場合, 教科書が行き届きにくいいため, 市場などで購入するか学校が貸与することもある。
	教科書の特色	近年のものは, ほとんどカラー印刷がなされている。
デジタル教科書の状況		デジタル教科書の動きはまだ出ていない。教育スポーツ省はユニセフの支援を受けてオンラインラーニングプラットフォームを作成し, E 教科書をアップロードしている。さらに現在, 大手通信会社と契約を結び, デジタルラーニングについて中学校でパイロットを始めたり, 中国政府を含む各ドナーから支援を受け ICT 教員研修を実施したりしている。ただし電気や Wi-fi が届いていない山岳地帯や遠隔地におけるデジタルラーニングの実施には大きな課題が残っている。